

クラス番号	241	ゼミタイプ	エクスカージョン 型
		担当教員名	伊藤 文人
テーマ	「歴史」と「物語」：インタビューから「伝記」執筆へ		

ゼミナール概要

【目的、内容、方法】

本ゼミでは、多様な個人や団体（原則的に教員が知っている人や団体を紹介しますが、学生の祖父母や開拓したい対象でもOK）へ受講生たちが出かけてインタビュー（オンライン含む）をし、その人や団体の歴史について学び、その内実を「伝記」としてまとめていく活動を行います。

個人や団体は、それぞれの歴史があります。私たちが曲がりなりにも「生きることができる」のは、先人の経験を歴史的な学習を通じて「活かしている＝活かすことができる『ちから』を持っている」からでしょう。そもそも私たちの存在自体も、父や母、祖父や祖母、兄弟姉妹や親戚（叔父、叔母、いとこなど）との関係のなかにあり、それぞれが歴史的存在です。他者（個人／団体を問わず）を理解するとは、その人の歴史を学ぶことと同義です。

本ゼミでは、個人や団体の歴史と受講生の関心に沿った「現代の課題」とを「接合」し、多様な視点を自分たちの生きる力へ転化していくための前提として対象にアプローチ（「生活史」という方法を用います）して、その軌跡を「伝記」としてまとめていきます。

授業計画：

（前期）生活史的方法、インタビューの方法などの基礎的な知識を専門書の輪読や映像鑑賞をする形で学びます。背景となる日本や世界の歴史的なトピックの「おさらい」を兼ねます。

（夏休み）家族（祖母、祖父、父、母、叔父、叔母など）を対象に、インタビューをして簡単な「伝記」を作成します。インタビューをする質問項目（何を訊くためにどういう質問をするのか）を考えていきます。

（後期）以上の課題を基盤として、対象を決めて、アポを取り、地域社会で生活している個人や団体へ出向いて（ゲストとしてお迎えして）、インタビューをさせていただき、同様にこれを「伝記」的な体裁でまとめていきます。

【受講生の声】＜伊藤ゼミでの学習の魅力（M.Tさん）＞

私はゼミに入るまで伊藤先生の存在を知りませんでした。また伊藤ゼミに所属したことを先輩に報告したら「厳しいぞ!」と言われてびびっていました。しかし先生の学習に関する話をじっくり聞くと、ものすごく面白いことを自分が取り組んでいることが分かってきました。だから、今は伊藤ゼミを選んで良かったと心底思っています。ゼミでは、過去の戦争と福祉の関係を学習するものですが、おおまかな学習の指針や文献・資料を先生が示してくれた上でグループ学習を進めます。先生のゼミには「メンターさん（ゼミ学習を補佐してくれる先輩たち）」がいて、議論の方法やレポートの書き方などを教えてくれます。しかし、なんといっても学生たち自身で学習テーマを考え、それを実行に移していく、そんな自分たちが主体となる雰囲気や環境をお互いが大事にしているところが面白いです。先生が学生たちの提案を最大限尊重し、より良いものを創ろうとしてくださるので、形に縛られたくないひとや、自分の企画や意見を持ち、積極的に周りの人とそれを交換していきたい人、とにかく何かやってみたい人には、お勧めです!!

担当教員からのメッセージ



歴史から見えてくることは、たくさんあります。「社会福祉」の内実も歴史を踏まえて多角的に理解していくとこれまでにない発見があるのではないのでしょうか。

他者のニーズに応答するのが社会福祉専門職と言われてはいますが、ニーズに応える前提は、他者を歴史的存在として認識していく姿勢だと思います。

お互いの考えを尊重しながら知恵を集めて学習対象の理解に取り組んでいきたいものですね。ゼミでの出会い（一期一会）を大切にしたいものです。